

Plat'Home Press Release

2009年4月6日
ぷらっとホーム株式会社

ぷらっとホーム、インテル純正マザーボード採用の クラウドコンピューティング向け 1U サーバーを発表

インテル® サーバーボード S5500WB を採用した、省電力・マルチコアサーバー

2009年4月6日、ぷらっとホーム株式会社（証券コード：東証 6836、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木友康、以下ぷらっとホーム）は、インテル株式会社（東京本社：東京都千代田区丸の内 3-1-1、代表取締役社長 吉田 和正）から4月6日に発表された新アーキテクチャーに基づくプロセッサ向けマザーボード インテル® サーバーボード S5500WB を採用した 1U サーバー「CloudStation™ E」を発表しました。

CloudStation™ E は、膨大な数のサーバーを用いるクラウドアーキテクチャ・コンピューティング（※1）を想定して開発され、通信キャリアや、Web サービスプロバイダなどをはじめとする xSP（※2）での運用のほか、物理サーバーに複数台の仮想サーバーを集約した運用を考える企業において、きわめて大きな導入効果をもたらします。なお本製品の販売にあたりぷらっとホームでは、CloudStation™ E を用いた Xen®、VMware、KVM（※3）、Hyper-V™ などの仮想化システム導入・運用について、サポートを行います。

■ 製品詳細

概要

CloudStation™ E は、国内 Linux コンピューティングのリーディングカンパニーであり、数々のサーバークラスターなど大規模システムの構築ノウハウを持つぷらっとホームが、インテル® サーバーボードの採用により実現した、高密度実装向けの省電力・マルチコアサーバーシステムです。

Plat'Home Press Release

高密度実装を可能にする高効率仕様

本製品は、インテル® Xeon® プロセッサ L5520 を最大 2 個搭載します。インテル® Xeon® プロセッサ L5520 は、データセンターなどでの導入において、処理能力と電力消費量の最適なバランスが保たれたシステム運用を実現する、インテルが提供する最も新しい CPU です。インテル® QuickPath インターコネクト (インテル® QPI) により CPU-メモリ間での大きなバンド幅を確保しており、非常に低いメモリ・レイテンシと驚異的なパフォーマンスを実現します。

インテル® Xeon® プロセッサ L5520 は、ハイパースレッディング・テクノロジーを搭載することにより、1CPU で 8 スレッドまでを同時に扱うことができます。CloudStation™ E は、プロセッサを 2 個搭載した場合で最大 16 のスレッドを扱うことができ、仮想サーバーに割り当てる並列稼働など、きわめて高効率な運用が可能です。

高い冷却効率

マザーボード上のパーツ配置は、稼働時の冷却効率を最大限に高めるため、熱源となる CPU およびメモリを、エアフローの近接した正面となる位置に並べて配置しています。そのため、従来の一般的なサーバーと比較して、高い冷却効果を得ることができます。

省電力効果

CloudStation™ E は、従来のインテル® Xeon® プロセッサ搭載サーバー (TRQX-1/50SA、ぷらっとホーム) と比較して、アイドル時で 54%、負荷時で 14% もの消費電力削減 (※4) に成功し、運用時のランニングコスト削減を実現します。

CloudStation™ E が搭載するインテル® サーバーマザーボード S5500WB は、従来における一般的なサーバーに比べた際の待機時消費電力の削減に加え、省電力化のための革新的な機構を採用しています。

単一 12V 入力方式の採用により、従来の一般的なサーバーにおけるマルチ入力電源 (※5) と比較して、電力供給回路が単純化され不要パーツも削減されているため、消費電力の抑制と高効率化が実現しています。

なお、ぷらっとホームでは、インテル® Xeon® プロセッサ L5520 が搭載するノードマネージメント機能 (パワーキャッピング機能) (※6) を活用し、システムの高度な電力管理を可能とするソフトウェアの実装を予定しています。

Plat'Home Press Release

■ インテルからのエンドースメント

インテルは、ぷらっとホーム株式会社の CloudStation™ E の発表を歓迎します。CloudStation™ E に搭載されるインテル® Xeon® プロセッサー L5520 は、高い性能と優れた電力効率、柔軟な仮想化環境を発揮する新世代のマイクロアーキテクチャーに基づくサーバー向けプロセッサーです。インテル最新のサーバー・プロセッサー、システムレベルの電力管理を可能とするインテル® Dynamic Power Node Manager、インテル® サーバーボード S5500WB との組み合わせにより、より高度な電力管理を行う事が可能となり、電力効率が高いシステムを構築する事が可能となります。電力効率が高いシステムを望むユーザーに対して CloudStation™ E 採用システムは、高い投資効果を発揮すると期待します。

インテル株式会社

マーケティング本部

エンタープライズ・プラットフォーム・マーケティング統括部長 徳永 貴士

■ 価格・販売・仕様について

CloudStation™ E は、ぷらっとホーム、ぷらっとホーム直営 EC サイトであるぷらっとオンライン、および各販売代理店より、本日より順次販売が開始されます。

ぷらっとホームでは、発売初年度で合計 1,600 台の出荷を見込んでいます。

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 製品名 | : CloudStation™ E |
| 型番 | : CSQX-1/55 |
| 価格 | : 417,900 円 (税込み) (本体価格 398,000 円) ~ |
| 発売日 | : 2009 年 4 月 6 日 |
| 出荷予定日 | : 2009 年 5 月中旬 |

□ 基本仕様

| | |
|--------|--|
| プロセッサ | : インテル® Xeon® プロセッサー L5520 x1 (最大 2) |
| チップセット | : インテル® 5500 チップセット (ICH10R + IOH24D) |
| メモリー | : 2GB DDR3 Registered SDRAM × 3 (最大 32GB) |
| グラフィック | : ServerEngines LLC Pilot II (Matrox G200 8MB 相当) |
| ネットワーク | : 1000Base-T (インテル® 82576) × 2Port (RJ45) |
| ストレージ | : 16GB SSD x 1 (SLC NAND) |

Plat'Home Press Release

| | |
|------------------|---|
| | (最大 4TB、1TB HDD x4 の場合) |
| ストレージ I/F | : 3.0Gbit/s Serial ATA II |
| ストレージベイ | : 3.5 インチ x 4 スロット |
| 拡張スロット (空きスロット数) | : x16 PCI Express x1(1) |
| シリアル | : RJ45 x1 (オプションの変換ドングルにて D-sub 9pin に変換) |
| ディスプレイ | : Mini D-sub 15pin x1 |
| 外部インターフェース | : USB 2.0 A-Type 4pin x5 (前面 1、背面 4) |
| マネージメント機能 | : ServerEngines LLC Pilot II Integrated BMC IPMI 2.0 対応 Video and USB compression and redirection |
| 本体寸法 | : 430 (W) × 43 (H) × 668 (D) mm |
| 形状 | : 19 インチラックマウント 1U 高さ |
| 電源 | : 入力 : AC100V (47~62Hz) 出力 : 450W(VA) |
| 重量 | : 標準構成時 10.8Kg 最大構成時 13.0Kg |
| 消費電力 | : 標準構成時 最大 105.16W (109.16VA) アイドル時 57.92W (63.84VA) (ベンチマーク時 (※4) 最大 183.06W (186.60VA) アイドル時 82.42W (85.96VA)) |

■ 関連 URL

- 高解像度の製品画像 URL (プレスキット)

<http://www.plathome.co.jp/products/server/cloudstation/e/download.html>

- 仕様詳細・その他の情報

<http://www.plathome.co.jp/products/server/cloudstation/e/>

Plat'Home Press Release

■ ふらっとホームについて

ふらっとホームは、創設当時の 1993 年に、まだ黎明期にあった Linux オペレーティングシステムを企業として初めて国内へ輸入・販売しました。また 1996 年には独自ブランドとして最初のオリジナルサーバーを出荷、2000 年に東証マザーズでの株式公開を果たしました。ふらっとホームは、創業以来、日本の代表的なオープンソース OS 関連企業として、また数々の先端的なプロダクトの販売代理店として、企業におけるビジネスの立ち上げや運用を支え続けています。

■ お問い合わせ先

本プレスリリースについてのお問合せ：

ふらっとホーム株式会社 広告・宣伝課 松本知巳

matsumoto@plathome.co.jp

Tel 03-3251-6152 / Fax 03-3251-6173

メディア掲載時のお問合せ先：

ふらっとホーム株式会社 営業部 竹内敬呂

sales@plathome.co.jp

Tel 03-3251-2600 / Fax 03-3251-2602

■ 情報公開期限

2009 年 4 月 6 日（月）12:00

Plat'Home Press Release

※ 1. クラウドアーキテクチャ・コンピューティング

：膨大な数のサーバーからなり、スケールの拡大・縮小が動的に行われる大規模データセンターでのコンピューティング。

※ 2. xSP

： Any Type of Service Provider=各種サービスプロバイダ。

※ 3. KVM

： Kernel-based Virtual Machine。Linux カーネル 2.60.20 で標準搭載の仮想化機能。1 台のマシンで Linux と他の OS (ゲスト OS) を協調稼働できるように制御する、いわゆる「VMM」(仮想マシン・モニター) と呼ばれるソフト。

※ 4. アイドリング時で 54%、負荷時で 14%もの消費電力削減

【計測環境詳細】従来の一般的なインテル® Xeon® プロセッサ搭載サーバーとして、ぷらっとホーム TRQX-1/50SA (インテル® Xeon® プロセッサ E5405 x 2 (2.00GHz QuadCore)、メモリー：DDR2 240pin ECC Registered FB-DIMM 12GB、SSD：32GB (SLC NAND)、消費電力：最大 212.56W (217.32VA) アイドル時 181.45W (186.43VA)) と CSQX-1/55 (インテル® Xeon® プロセッサ L5520 x 2 (2.26GHz QuadCore)、メモリー：DDR3 ECC Registered DIMM 12GB、SSD：32GB (SLC NAND)、消費電力：最大 183.06W (186.60VA) アイドル時 82.42W (85.96VA)) を比較。なお、最大消費電力(負荷時)は Cpuburn を 8 スレッド実行した状態。

※ 5. マルチ入力電源

： SSI 電源とも。マザーボード上の各回路は通常異なる電圧で動作しており、各電圧 (= 各回路) ごとに必要とする電流 (A) も異なる。そのため、従来の一般的なサーバーでは、各電圧に対応した複雑な電源供給回路構成を余儀なくされ、また多様な要求に対応すべく、各回路が必要とするよりも大きな出力の汎用電源ユニットを搭載せざるを得なかった。実際の稼働にあたっては、電源ユニットの出力に対し 40%程度あるいはそれ以下の電力しか使用されないのが一般的であり、単一 12V 電源よりも電力ロスが大きく、効率が低い。

※ 6. ノードマネージメント機能 (パワーキャッピング機能)

：インテル® Xeon® プロセッサ L5520 が搭載する、任意に設定された値に合わせて電力消費量のキャッピングを行う機能。

Plat'Home Press Release

- * インテル、Intel、Xeon はアメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- * Xen® is Registered Trademark of Citrix in the United States and/or other countries.
- * VMware, the VMware "boxes" logo and design are registered trademarks or trademarks (the "Marks") of VMware, Inc. in the United States and/or other jurisdictions.
- * Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- * CloudStation、クラウドステーションの名称・ロゴは、日本国及びその他の国における、ぷらっとホーム株式会社の登録商標または商標です。
- * ぷらっとホームおよび Plat'Home の名称・ロゴは、日本国及びその他の国における、ぷらっとホーム株式会社の登録商標または商標です。
- * その他、本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。